

当院でお勧めしている不妊治療スクリーニング検査

ゆめクリニック

保険適応の検査の費用は、3割負担の場合です。

【女性】

1. **卵胞期ホルモン検査 (LH, FSH, E2, PRL)** 約 2,100 円
 - 排卵に関わるホルモンの検査です。通常生理の3日目頃に行います。
2. **ホルモン検査(2) (Testosterone, f-T3, f-T4, TSH)** 約 2,100 円
 - 甲状腺機能を含む、排卵に関わるホルモンの検査です。
3. **HSG (子宮卵管造影検査)** 約 3,800 円
 - 卵管の通過性や骨盤内の癒着などをみる検査です。造影剤を子宮の中に流し、レントゲン写真を撮影します。
4. **超音波スクリーニング検査** 約 1,600 円
 - 子宮筋腫や子宮内膜症など、妊娠に影響を及ぼす可能性のある婦人科疾患の有無をみる検査です。
5. **子宮頸がん検査** 約 1,100 円
 - これから母になることを望む女性の責任と考えます。
6. **性交後試験 (ヒューナーテスト)** 約 300 円
 - 射精された精子が子宮頸管を通過し子宮の中へ入る能力があるか否かを推測する検査です。前日に性交をした上で翌日に受診していただき、子宮頸管部の粘液を採取し、運動精子の有無を確認します。不良の場合は人工授精の適応になることがあります。
7. **坑精子抗体 (SIV:精子不動化値) 測定** 5,800 円+消費税 (自費)
 - 精子不動化抗体 (坑精子抗体の一つ) は、射精された後受精に至るまでのあらゆる時点で精子の運動を抑制し、受精障害を起こすことがわかっています。女性の血液中にこの抗体があるか否かを検査しておくことは、治療方針を決める上で非常に有用です。

8. **AMH（坑ミューラー管ホルモン）測定** 5,000 円+消費税（自費）
- 卵子は出生した後は減る一方で、新たに造られることはありません。この検査は現時点で卵巣の中に卵子がどの程度残っているかを推測する指標となります。治療方針を決める上で有用です。
9. **クラミジア抗体検査** 3,800 円+消費税（自費）
- 原則は自費ですが、保険適応になる場合もあります。
- 過去クラミジアの感染があった女性は高率に卵管周囲に癒着を生じ、卵管が原因の不妊となります。不妊の原因検索の一つとして有用です。
10. **乳房超音波検査** 2,000 円+消費税（自費）
- 症状がある場合は保険適応になることもあります。
- 妊娠、出産、産褥期は乳腺の変化が著明で、乳房のトラブルが起きやすくなりますが、そのために乳がんを見落としやすくなる時期でもあります。妊娠を控えたこの時期に一度スクリーニングで乳房の超音波検査をお勧めします（20～40 歳代の方の乳腺は豊富であるため、マンモグラフィよりも超音波の方が有用です）。

【男性】

1. **一般精液検査** 約 330 円
- 不妊の原因の約半数は男性にもあることがわかっています。精子の数や運動率を調べることは男性としての責任です。
2. **SST（精子生存率テスト）** 10,000 円+消費税（自費）
- 一般精液検査が良くても妊娠しないカップルは多数います。この検査は、一般精液検査には反映されない精子のエネルギー代謝能を簡単にみる検査です。お預かりした精子を数日間培養し、長時間生存し続ける精子の割合をみることで、この先自然に妊娠する可能性がどのくらいあるかを推測できます。また、体外受精をした場合の受精率を推測する指標にもなります。